

3-2-2 産業の発達と民衆の生活①

やること

① 農業の変化

② 商業の変化

③ 民衆の変化

用意するもの：歴史の教科書、歴史の資料集



2年生の課題に年表もでています。
知識が整理されるからぜひやってね！

① 農業の変化

室町時代は農業の収穫量が増加します。

その理由は複数あります。自分なりに3つ収穫量が増加した理由を資料集 P50①農業の発達から探しましょう

1. 牛耕を行っている（二毛作が全国にひろまった）

2. 肥料をまいている

3. 水車を利用している

② 商業の変化

室町時代の社会では物を作る人や作ったものを運ぶ人、お金が流通しはじめるなど社会が豊かになってきた時代です。室町時代の社会がどのようなものか調べましょう。

問 貨幣（お金）が流通していきますが、日本では造っていませんでした。どこの貨幣を使用していたでしょうか。資料集 P51 を見て探しましょう

答え：明（宋）

問：当時の室町幕府では土倉と酒屋の2つが納める税がとて大きな財源でした。土倉と酒屋がそれぞれどのような活動を行っていたか資料集 P51 ⑨酒屋と土倉から探しましょう。

土倉：**高利貸し**

酒屋：**酒造業者と高利貸し**



いわゆる金貸しでございます

（作業）

当時は座と呼ばれる「同業者組合」が存在しました。油を売る人の集団を油座、塩を売る人の集団を塩座と呼びました。それぞれの座は本所と呼ばれる公家や寺社などに保護されながら販売の独占を許されました。

資料集 P5 I ③座の発達を見て確認しましょう。

資料の読み取り

資料集 P5 I ③座の特権「B 座の特権」の資料から当時の座の様子を読み取りましょう。

問 1、この資料では油座のことが書かれていますがこの油座の本所はどこですか

答え：大山崎離宮八幡宮

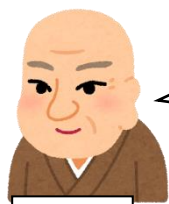
問 2、本所は油座の商人に何を免除していますか

答え：雑税や土倉役

問 3、この資料によると摂津や近江の油絞り機を壊そうとしています。なぜ摂津や近江の住民たちが油を作っているのを阻止しようとするのでしょうか。

答え：摂津や近江の住民が油を売り始めると油座が販売を独占できず本所に収める営業税も減ってしまうため

<座の仕組みとこの資料のイラスト解説>



本所

油座の販売をうちの寺の前で販売していいぞ。
その代わり売り上げの何割かをしっかり納めるんだぞ。

ありがとうございます！この周辺の人自分たちのところでしか油を買えないので莫大な売り上げになりますよ！



油座



摂津、近江の住人

油座で買うと高いから自分たちで油つくろうぜ！



今回はここまでです。農業や商業で庶民が力をつけた様子が分かったかなと思います。次回はこの力をつけてきた庶民があることを起こします。その様子を見ていきましょう！